

自ら考え 挑戦し続ける子どもを育てます



～チャレンジ桜井～

令和8年8月27日 No.520



横浜市立桜井小学校



桜井小学校の
ホームページはこ
ちらからどうぞ



夏の経験を力に、実りの秋へ

校長 遠藤 清美

長かった夏休みが終わり、学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。今年の夏も厳しい暑さが続きましたが、大きな事故やけがの報告もなく、夏休み明けが迎えられたことを大変嬉しく思います。保護者の皆様、地域の皆様には、子どもたちの安全な生活を支えていただき、感謝申し上げます。また7月には熊本地震、8月には千葉豪雨と大きな被害をもたらしました。亡くなられた方々へのお悔やみと、被災された方々へのお見舞い申し上げます。一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

夏休み中、子どもたちは家族との時間を楽しんだり、地域の行事に参加したり、自分で決めた課題に取り組んだり、それぞれ有意義な経験を積んだことと思います。7月17日(木)に本校の6年生と学校運営協議会の委員の皆様との「語る会」を実施しました。2つのテーマに分かれて話し合いましたが、その1つが「地域行事への参加について」でした。話し合いの中で子どもたちは夏祭りなどの地域の行事をととても楽しみにしている一方で、町内会や自治会の皆様がさまざまな企画をしてくださっていても、その案内は回覧板やオンラインを通じて保護者に届けられることが多く、子どもたち自身の目にふれる機会が少ないという課題が見えてきました。そして、子どもたちにも情報が届きやすいよう、PRの方法を工夫していくことが大切ではないかという意見がまとまりました。翌日には、放送委員会の児童が「お昼の放送で夏休み中のお祭りを紹介したい」と提案し、早速行動に移していました。また、子どもたちは、地域行事への参加だけでなくその準備やボランティア活動にも関わりたいという思いをもっています。その思いを町内会・自治会の皆様が受け止め、今後の地域行事に生かしてくださることを期待しております。

子どもたちを育てるのは学校だけではありません。このように地域の中で「自分は役に立っている」「地域に貢献できている」と実感できる経験を積むことは、自己肯定感や自己有用感の育成につながります。今年の夏休みも、学校を離れた生活の中で得た学びや気づきが、子どもたちを一回り成長させてくれたことでしょう。

さて、夏休み明けから冬休み前までは一年の中で最も長く、学習や行事を通して大きく成長できる時期です。本校では、宿泊体験学習や校外学習をこの期間に実施します。一人一人が目標を持ち、友達と力を合わせながら挑戦を重ねてほしいと思います。成功した経験だけでなく、努力した過程や失敗から学んだことも、大切な成長の糧となります。

まだ暑い日が続きますが、子どもたちの心と体の健康に十分配慮しながら、教職員一同、実り多い秋となるよう支援してまいります。今後も本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。